



第14回 東北アジア青年フォーラム2017 参加者 募集要項

公益社団法人 国際 IC 日本協会

2004年から昨年まで13回にわたり日・中・韓の大学生・大学院生を中心に開かれた東北アジア青年フォーラムが、本年も下記の要領で開催されることになりました。尚、本年も、日・中・韓の青年の交流に先立ち、8月21日(月)～22日(火)に掛けて日韓の青年同士の交流を行うことになりました。日韓大学生の討論会を終えた22日に、今度は中国からの参加者を加えて東北アジア青年フォーラムが始まるという2部構成です。日韓大学生の討論会の詳しい内容については、別添の資料をご参照下さい。

本フォーラムは、グループ・ディスカッションでの率直な話し合いやレクリエーションの時間、そして、それぞれの国の文化を相互に体験する活動、及び、歌や踊り等を披露しあう「文化公演」等のプログラムを通して、個々人の相互理解や親密度を深めることを目的としております。更には、ソウルの街を一緒に散策といった体験を通して韓国の文化を肌で感じることもできます。

現在も、日・中・韓を取り巻くマスメディアの報道や、各国政府間の関係は必ずしも明るいものとは言い難いですが、国籍や言葉の垣根を越えて、同世代の中国や韓国の青年と接するとき、草の根のレベルでの関係改善への一歩が始まります。

また、多言語が飛び交う国際交流における議論の進行や意思疎通の難しさを実感することも貴重な体験となることでしょう。日本国内においても、ただでさえ、異なる価値観、考え方を持つ人との意思疎通が難しい場面に遭遇したり、意見が食い違う場面も多々ありますが、これが異なる背景や文化圏から来た人同士の外国語の意思疎通であれば一層実感することでしょう。

その中で、相手のことを思いやり、また、価値観を共有できる機会はなかなかありませんが、グローバル社会となった現代では、誰もが経験すべき貴重な機会となります。韓国や中国に一生の友人を得る機会ともなりうる本フォーラムに是非、ご参加下さい。



記

- 期 間：2017年8月21日(月)～27日(日)(6泊7日)
- 主 催：韓国 MRA/IC 本部 (青少年教育団体)
- 後 援：大韓民国政府 女性家族部 (省)
- 協 賛：公益社団法人国際 IC 日本協会 (日本での応募先)
中国国際交流協会 (中国)、中国国際青年交流センター (中国)

■ 会議の内容

- ー日中韓の有識者による本フォーラムテーマに関連する講演
- ーテーマ・サブテーマについてのグループでの討論と各国代表による発表
- ーレクリエーション、各国文化体験活動やそれぞれの国の歌や踊り等を披露しあう「伝統文化公演」の開催
- ー韓国の文化施設等の見学、グループでのソウル市内の散策

■ テーマ

東北アジア（日中韓）青年フォーラム『環境開発と保護』（8月22日（火）～27日（日））

サブテーマ

1) 未来世代のための東北アジア環境協力（韓国発表）

東北アジアで最も早い産業化と都市化を成した日・中・韓三国が、東北アジア地域の環境保護のための協力と時代状況に合った協力案について探る。

2) 環境開発と東北アジアの持続可能な発展（中国発表）

東北アジア地域の経済中心国家として多くの資源を消費しており、産業開発と都市発展のために環境開発を成し遂げている日・中・韓三国が当面している環境開発と持続可能な発展の間のジレンマの中で代案を探る。

3) 気候の変化と人類の未来（日本発表）

環境破壊による気候の変化が東北アジアを越え、全地球的に拡散されながら発生している地球温暖化現象、砂漠化現象、異常気温などの環境問題が今後の地球と人類の未来におよぼす影響について調べ、未来を導いていく次世代の青少年に環境共同体の意識と協力精神を育成する。

※サブテーマの事前学習と発表について

各国8～9名ほどが、グループ毎に別れ、各自の事前調査に基づく意見交換を行い、その意見交換のまとめを全体会議で報告します。

また、これに先立ち、グループ・ディスカッションとは別に、各国代表者が、各国毎に指定されたサブテーマについて、事前に調べた成果物を発表します。すなわち、サブテーマ1は韓国、2は中国、3は日本の各国代表者1名が、パワー・ポイントを用いて発表します。

参加を御希望の方は、サブテーマの中から一つ選択して、下記要領に従い小論文を作成することとなります。なお、各国毎のサブテーマのグループに定員（各国8～9名）があるため、特定のサブテーマに希望者が集中した場合、小論文の内容等を踏まえて人数調整をさせていただきます。

【小論文作成要領】

- ・1頁当たり40字／40行、フォントサイズ12.0pt、A4サイズ、2000字以上3200字以内
- ・文献の引用については、(著者名(発行年)「タイトル」出版社・頁数)と表記して下さい。
- ・文書の冒頭中央に「環境開発と保護」、改行して中央に「(選択したサブテーマ)」、改行して右端に「大学名・学年・氏名」を記入して下さい。
- ・文章が読みやすくなるように適宜ナンバリングとタイトルを振っても構いません。その場合、ナンバリングは大きい番号から「1→(1)→a→(a)」の順番で統一して下さい。

■ 募集人数：日本の大学生・大学院生 合計25名

(中国の大学生・大学院生25人、韓国の大学生・大学院生40名が参加予定)

■ 参加費：60,000円予定(航空運賃、団体旅行保険料込み)

※ 上記参加費は、羽田空港⇄金浦国際空港の往復航空運賃及び団体旅行保険料を含む料金となっております。従いまして、羽田空港以外の国内国際空港(関西国際空港、福岡空港)を利用して韓国ソウルに渡航することを希望される場合には、予め公益社団法人国際IC日本協会まで御連絡を頂き、各自の責任で手配して頂くこととなりますので、その点御了承下さい。なお、羽田空港を利用される場合の羽田空港までの国内交通機関の利用は各自の負担となりますのでご注意ください。

※ 滞在費(但し、私的な飲食代金や物品の購入費用は除く)は、韓国MRA/IC本部の負担となります。

※ 羽田空港をご利用される参加申込者のうち、出発日の1か月前(7月21日)を過ぎて本フォーラムの参加をキャンセルされた場合、キャンセルチャージ(旅行会社手数料含む)として26,200円をご負担頂くこととなりますので、予めご了承下さい。

■ 参加を検討されている方は、公益社団法人国際IC日本協会、清水まで電話やメールでご連絡下さい。

メール：info@iofc.jp

電話：03-6273-1428 (事務局長：清水 葉子)

■ 参加申込手続

参加希望の方は、サブテーマについての小論文、参加申込書(公益社団法人国際IC日本協会ウェブサイトよりダウンロード可能)、顔写真データ1枚、及び、パスポートの氏名欄のコピー(パスポートがまだない方は、入手次第)をEメールの添付ファイルでinfo@iofc.jpへお送り下さい。(6月20日(火)を募集の締切と致しますが、先着順で選考させていただきますので早めにお申し込みください) 尚、選考結果は速やかに国際IC日本協会事務局よりメールにてお送りします。

■ 参加者勉強会・チームワーク作り：

本フォーラムを更に意義深いものにするために事前に話し合いのテーマについての勉強会を行います。(本フォーラムの会議中、参加者は、それぞれの言葉を使い、それが各国語に通訳されず。食事や自由時間には各自の出来る言葉でコミュニケーションを図ってください)

また、「伝統文化公演」の演物を考え、一緒に練習もします。この過程で、日本からの参加者同士もお互いに仲良くなる事が出来ます。

そのため、7月から8月に掛け、公益社団法人国際 IC 日本協会事務局にて事前準備会（日程は参加の決まった方々に追ってご案内いたします）を実施いたしますので、参加者におかれましては、万障お繰り合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

尚、準備会の会場は公益社団法人国際 IC 日本協会事務所 東京都新宿区四谷 4-28-20 パレ・エテルネル 206 号（TEL：03（6273）1428）です。

（地下鉄丸の内線「新宿御苑前駅」の大木戸口出口を出て、新宿通りを左に徒歩約4分。四谷四丁目交差点の手前の路地の奥にある茶色の煉瓦のビルです。道路の反対側には大きな四谷区民センターのビルが見えます。尚、手前のレジデンス用の入り口ではなく、その奥隣にある事務所用の入り口から入って、エレベーターで2階までお上がり下さい）

* 遠隔地の方々は、事前準備会にご参加頂くのが難しいと思います。準備会で話し合われたことを議事録にまとめてお送りします。又、スカイプ・ミーティング等を行って事前に参加者同士の交流も図りますのでご安心ください。

■ 感想文提出

本フォーラム参加者は、帰国後1週間以内に感想文（A4用紙2枚程度）を提出して頂きますのでよろしく願いいたします。

（提出先：info@iofc.jp）

■ 参加費の納付

参加が決定した場合には7月5日（水）までに次の銀行口座にお振込み下さい。

・三菱東京UFJ銀行 大塚支店（普）4880675

口座名：公益社団法人 国際 IC 日本協会

※但し、羽田空港以外の国内国際空港（関西国際空港、福岡空港）を利用して韓国ソウルに渡航することを希望される場合、参加費の納付は不要となりますが、各自の責任で航空券を手配して頂くこととなりますので、宜しく願いいたします。

■ スケジュール (予定)

8月21日(月) (第1日)

羽田発の航空便で出発、金浦空港着

日韓大学生討論会 (詳しくは別紙の資料をご参照下さい)

話し合いテーマ:『共にする』青年文化を創るための日韓青年の役割

サブテーマ

- 1) 「独身生活」「ひとり」から『二人で生活する』青年文化
- 2) 社会構成員としての青年の結婚と出産

15:00-16:30 出合いの時間 (親交活動、自己紹介) (於:ソウル国際青少年センター会議室)

16:30-19:00 グループに分かれての討論

19:00-20:00 夕食

20:00-21:00 各グループからの発表

21:00-22:00 共同宣言文の検討

(国際青少年センター泊) (*1)

8月22日(火) (第2日)

08:00-09:00 朝食 (国際青少年センター食堂)

09:00 国会議員会館に向け出発

10:00-10:30 開会式 (於:国会議員会館小会議室)

10:30-11:00 主題についての基調講演 (韓国 専門家)

調整中

11:00-11:40 サブテーマ1に関しての韓国の学生代表による発表と日本人学生代表による討論、および、サブテーマ2に関しての日本の学生代表による発表と韓国人学生代表による討論

11:40-12:20 発表者と参席者間の意見交換

12:20-12:30 共同宣言文の発表

12:30-13:30 昼食 (国会議員会館食堂)

第14回東北アジア青年フォーラムのスタート

17:00-18:00 開会式 (於:AW コンベンションセンター) (*2)

主題講演 (講演者未定)

18:00-19:00 歓迎夕食会

19:00-22:00 国際青少年センターに移動、オリエンテーション

(国際青少年センター泊)

8月23日(水) (第3日)

- 07:00-08:00 起床
08:00-08:40 朝食
09:00-12:00 天安の国立中央青少年修練院へ(独立記念館見学経由)バスで移動
10:30-12:00 独立記念館見学
12:00-13:00 昼食
13:00-13:30 韓国学生参加者代表、サブテーマ1についての発表(国際会議室)
13:30-15:30 グループ別討論(各討議室)
15:30-16:00 中国学生参加者代表、サブテーマ2についての発表(国際会議室)
16:00-18:00 グループ別討論(各討議室)
18:00-19:00 夕食
19:00-20:00 レクリエーション
20:00-22:00 各国文化体験活動

(国立中央青少年修練院泊)(*3)

8月24日(木) (第4日)

- 07:00-08:00 起床
08:00-09:00 朝食
09:00-09:30 日本学生参加者代表、サブテーマ3についての発表(国際会議室)
09:30-12:00 グループ別討論(各討議室)
12:00-13:00 昼食
13:00-15:30 グループ別討論のまとめ
15:30-16:00 討論のまとめの発表(国際会議室)
16:00-18:00 共同体活動(レクリエーション)
18:00-19:00 夕食
19:00-20:00 文化公演準備
20:00-22:00 各国参加者による文化公演(国際会議室)

(国立中央青少年修練院泊)

8月25日(金) (第5日)

- 07:00-08:00 起床
08:00-08:40 朝食
09:00-12:00 ソウル・国際青少年センターへバスで移動
10:30-12:00 環境関連現場見学
12:00-13:00 昼食
13:00-18:00 統一展望台、臨津閣訪問
18:00-19:00 夕食
19:00-21:00 これまでの活動の評価と翌日のソウル文化探訪の準備(8人程度のグループに分かれソウル市内の見学)

21:00-22:00 共同宣言文作成

(国際青少年センター泊)

8月26日(土) (第6日)

08:00-08:40 朝食

09:00-17:00 ソウル文化探訪

17:00-18:00 閉会式準備

18:00-19:00 送別夕食会

19:00-20:00 閉会式

20:00-22:00 懇親交流会

(国際青少年センター泊)

8月27日(日) (第7日)

ソウル・金浦空港より出発 羽田空港で解散

《 宿泊及び会議会場 》

1. ソウル、国際青少年センター International Youth Center (DREAMTEL) (*1)

801 Bangwha-Dong, Kangseo-Ku, Seoul 157-223

Tel : +82-2-2667-0535 Fax : +82-2-2667-0257

2. AW コンベンションセンター(*2)

ソウル特別市ソウル特別市鍾路区付岩洞188

Tel : +82-2-396-7000 Fax : +82-2-396-2445

3. 天安 国立中央青少年修練院(*3)

忠清南道天安市木川面校村里246-1

Tel : +82-41-620-7792 Fax : +82-41-620-7799

《 韓国主催者連絡先 》

MRA/IC 韓国本部

International Youth Center (DREAMTEL)

801 Bangwha-Dong, Kangseo-Ku, Seoul 157-223

Tel : +82-2-2662-7360 Fax : +82-2-2662-7361

ご応募、並びに詳細の問い合わせについては、下記までご連絡下さい。

公益社団法人 国際 IC 日本協会 (担当: 清水 葉子)

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-28-20 パレ・エテルネル 206 号

TEL : 03 (6273) 1428 FAX : 03 (6273) 1429

E-Mail : info@iofc.jp ホームページ <http://iofc.jp>